

*L:聞くこと R:読むこと SI:話すこと(やり取り) SP:話すこと(発表) W:書くこと

キャリア教育の視点 基礎的・汎用的能力 人間【人間関係形成・社会形成能力】 自己【自己理解・自己管理能力】 キャ【キャリアプランニング能力】

月	課	配当時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	Sp	2	英語科オリエンテーション	-	-	-	-	-	-	教科開き(評価・春休みの課題・アンケート・自己紹介など)				
		6	Springboard アルファベット、ローマ字表(ヘボン式) Classroom English	-	○	○	○		○	授業の中で必要なことを伝えたり、質問したり、指示に応じたりすることができる。 【話すこと[やり取り]-ア】※小学校既習の言語材料(アルファベットのつづりと発音、アルファベットの活字体を含む) ●◆学校・地域・自己紹介・買い物・道案内:あいさつする、自己紹介する、質問する、応答する、指示する、聞き返す、質問する、礼を言う、謝る	聞くこと	【知識】openやrepeatなど基本的な動作を表す語の意味を理解している。 【技能】基本的な動作を表す語の意味の理解を基に、何をしてほしいのかなど、具体的な指示を聞き取る技能を身に付けている。		
	1	7	Lesson 1 Hello, New Friends	-	◎	○	○	◎	◎	自己紹介を行ったり、クラスメートの自己紹介のスピーチを聞いて要点を捉えたり、自分の知りたいことを質問したりすることができるとともに、話したことを基にして、自己紹介の手紙を書いたりすることができる。 【話すこと[発表]-イ、書くこと-ア・イ】 ※小学校既習の言語材料:I'm~/I like~/My favorite~is... ●学校・自己紹介:自己紹介する、好きなもの言う ◆★自己紹介:ネームカードの作成・交換	聞くこと	【知識】IやMy favorite~などが主語の文の構造を理解している。 【技能】IやMy favorite~などが主語の文の構造の理解を基に、自己紹介の英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために、自己紹介のスピーチから、好きなことやよくすることなどの要点を聞き取っている。	相手のことをよく知るために、自己紹介のスピーチから、好きなことやよくすることなどの要点を聞き取ろうとしている。
											話すこと[やり取り]	【知識】what, who, whenなどの疑問詞で始まる疑問文の構造を理解している。 【技能】自己紹介などにおいて、what, who, whenなどを用いて質問する技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために、相手の話を聞いて、内容に関することを質問している。	相手のことをよく知るために、相手の話を聞いて、内容に関することを質問しようとしている。
											話すこと[発表]	【知識】IやMy favorite~などが主語の文の構造を理解している。 【技能】好きなことやしたいことなどについて、IやMy favorite~などが主語の文を用いて話す技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、自分の好きなことやしたいことなどを整理し、まとまりのある内容を話している。	自分のことをよく知ってもらうために、自分の好きなことやしたいことなどを整理し、まとまりのある内容を話そうとしている。
											書くこと	【知識】IやMy favorite~などが主語の文の構造を理解している。 【技能】好きなことやしたいことなどについて、IやMy favorite~などが主語の文を用いて正確に書く技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、スピーチ等で話したことを基に、簡単な語句や文を用いて、自分の好きなことやしたいことなどを整理し、まとまりのある文章を書いている。	自分のことをよく知ってもらうために、スピーチ等で話したことを基に、簡単な語句や文を用いて、自分の好きなことやしたいことなどを整理し、まとまりのある文章を書くようにしている。
1	Grammar	-	-	-	-	-	-	※既習の言語材料						
1	Performance Test													
1	Lesson1 単元テスト													

月	課	配当 時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点 を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 月	2	7	Lesson 2 Talking with Friends	-	○	◎	○	○	<p>学校生活や家庭生活に関わる身近な事柄について、相づちを打ったり、情報を加えて応答したり、適切な質問をしながら即興でチャットを継続することができる。</p> <p>【話すこと [やり取り] ア】</p> <p>※小学校既習の言語材料：Are you ~? / Do you ~? / Can you ~? / What ~? / When ~? / Where ~? / How many ~?</p> <p>●学校・食事：質問する、応答する ◆好きな食べ物やスポーツを伝え合う</p> <p>※既習の言語材料</p>	話すこと [やり取り]	【知識】 Do, Are, Can, Who, Whatなどで始まる疑問文の構造を理解している。 【技能】 暇なときにすることなどの日常的な話題について、Do, Are, Can, Who, Whatなどで始まる文で質問したり、相手からの質問に答える技能を身に付けている。	お互いのことを理解し合うために、関心のある話題について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしたりしながら、チャット（おしゃべり）を継続している。 お互いのことを理解し合うために、適切な質問の仕方を理解し、チャットを継続することができる。【思考・判断・表現】	お互いのことを理解し合うために、関心のある話題について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしたりしながら、チャット（おしゃべり）を継続しようとしている。	
		1	Grammar	-	-	-	-	-	※既習の言語材料					
	1	Performance Test												
	1	単元テスト												
	6 月	3	7	Lesson 3 My Favorite Person	-	◎	○	○	◎	◎	<p>自分のお気に入りの有名人を知ってもらうために、伝えたいことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて発表したり、友達が紹介している有名人がどのような人で、友達がなぜその人のことを好きなのかなどの要点を聞き取ったりすることができる。</p> <p>【聞くことウ、話すこと [発表] ウ】</p> <p>※一般動詞の使い方（三単現）：Kenta plays ~. / He doesn't play ~. / Does Kenta play ~?</p> <p>●学校：第三者について説明する[質問する] ◆お気に入りの人物を紹介する</p>	聞くこと		友達のことをよく知るために、好きな有名人をテーマとしたスピーチから、その人物を好きな理由などの要点を聞き取っている。
									話すこと [発表]	【知識】 第三者について口頭で説明する際の文や発音の特徴やきまりを理解している。 【技能】 有名人などについて、主語が三人称単数の文を用いて話す技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、自分のお気に入りの人物の概要や好きな理由などを整理し、まとまりのある内容を話している。	自分のことをよく知ってもらうために、自分のお気に入りの人物の概要や好きな理由などを整理し、まとまりのある内容を話そうとしている。		
										書くこと	【知識】 第三者について説明したり質問したりする際の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】 有名人などについて、主語が三人称単数の文を用いて正しく書く技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらうために、自分のお気に入りの人物や身近の人の伝えたいことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を書いている。	自分のことをよく知ってもらうために、自分のお気に入りの人物や身近の人の伝えたいことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を書くようとしている。	
1		Grammar	-	-	-	-	-	-	※既習の言語材料					
1		Performance Test												
1	単元テスト													

月	課	配当時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7月	4	7	Lesson 4 Our Summer Stories	1~3	◎	○	○	◎	夏休みについて書かれた日記やブログなどを読んで概要や要点を捉えるとともに、自分でも夏休みについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 【読むことーイ・ウ、書くことーア・イ】 ※動詞の過去形：late ~. / It was ~. / I didn't ~. / Were you ~? / Did you ~? ●地域・旅行：「自分のこと」を言う、質問する ★社会（地理）：アメリカの地理 ◆★夏休み：夏休みの思い出の記録・発表	読むこと	【知識】過去形の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】過去形の文の特徴やきまりの理解を基に、思い出などについて書かれた短い文章の内容を捉える技能を身に付けている。	友達との会話の話題を得るために、日記やブログから、いつ、どこで、何を、どうだったなどの要点を読み取っている。	友達との会話の話題を得るために、日記やブログから、いつ、どこで、何を、どうだったなどの要点を読み取ろうとしている。	
										話すこと [やり取り]	【知識】過去のことについて、口頭で伝えたり質問したりする際の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】過去のことについて、事実や自分の気持ちなどを、過去形の文を用いて伝えたり、質問したり、相手の質問に答えたりする技能を身に付けている。	お互いのことを理解し合うために、週末にしたことなどの話題について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしたりしながら、チャット（おしゃべり）を継続している。	お互いのことを理解し合うために、週末にしたことなどの話題について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしたりしながら、チャット（おしゃべり）を継続しようとしている。	
										話すこと [発表]	【知識】過去のことについて口頭で説明したりする際の文や発音の特徴やきまりを理解している。 【技能】過去のことについて、事実や自分の気持ちなどを、過去形の文を用いて話す技能を身に付けている。	夏休みや小学校のときの思い出について、事実やそのときの気持ちなどを即興で話している。	夏休みや小学校のときの思い出について、事実やそのときの気持ちなどを話そうとしている。	
										書くこと	【知識】過去のことについて説明したり質問したりする際の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】過去のことについて、事実や自分の気持ちなどを、過去形の文を用いて書く技能を身に付けている。	自分のことをブログで発信するために、訪れたところについて、事実や感想を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	自分のことをブログで発信するために、訪れたところについて、事実や感想を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くようとしている。	
		1	Review / Task	-	○	○	○	○	※既習の言語材料 ●聞き取ったことを要約して書く					
	1	Grammar	-	-	-	-	-	※既習の言語材料						
	1	Performance Test												
	1	単元テスト												
	T1	1	Tips ① for Writing	-					○	自分の行動や感想を記録するために、事実や気持ちなどを整理し、日記を書くことができる。 【書くことーイ】※既習の言語材料 ●◆家庭・地域：「自分のこと」を書く	書くこと	【知識】文章を書くときのきまりを理解している。 【技能】文章を書くときのきまりを基に、3文程度の日記を書く技能を身に付けている。		
	R1	6	Reading 1 Fox and Tiger	1~4		◎				物語（Fox and Tiger）を楽しく読むために、登場人物の心情を理解しながら概要を捉えることができる。【読むことーイ】※既習の言語材料	読むこと		物語文を楽しんで読むため、登場人物の心情を理解しながら概要を捉えている。	物語文を楽しんで読むため、登場人物の心情を理解しながら概要を捉えようとしている。

月	課	配当 時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点 を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8 ・ 9 月	5	7	Lesson 5 School Life in Two Countries	1~3	○	○	◎	◎	ビデオ通話などで、校内で現在起きていることや友達の様子などを、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。 【話すこと【発表】 -ア】 ※現在進行形：We are having~/ / Is Aya singing ~? / What is she singing? ●学校：「自分のこと」を言う、質問する、部屋の様子を説明する	聞くこと	【知識】現在進行形の文の特徴やまじりを理解している。 【技能】現在進行形の文の特徴やまじりを基に、電話などの通話の内容を聞き取る技能を身に付けている。	学校の様子をビデオ通話などで知らせるために、昼休みの状況などについて、即興で話している。	学校の様子をビデオ通話などで知らせるために、昼休みの状況などについて、即興で話そうとしている。	
										話すこと【発表】	【知識】現在進行形の文の特徴やまじりを理解している。 【技能】今していることについて、現在進行形の文の用いて話す技能を身に付けている。			
										書くこと	【知識】現在進行形の文の特徴やまじりを理解している。			
	1	Review / Task	-	○	○	○	○	※既習の言語材料 ●必要な情報を聞き取る、質問する						
	1	Grammar	-	-	-	-	-	※既習の言語材料						
	1	Performance Test												
	1	単元テスト												
1	1学期末テスト													
1	T2	1	Tips ② for Listening	-	◎				大事な情報をしっかりと把握するために、口頭で行われる説明の内容から、相手が伝えたい大事なことや自分が必要とすることを聞き取り、メモすることができる。【聞くこと-ア】 ※既習の言語材料 ●学校：必要な情報を聞き取る	聞くこと		大事な情報をしっかりと把握するために、口頭で行われる説明の内容から、相手が伝えたい大事なことや自分が必要とすることを聞き取り、メモしている	大事な情報をしっかりと把握するために、口頭で行われる説明の内容から、相手が伝えたい大事なことや自分が必要とすることを聞き取り、メモしようとしている	
6	7	Lesson 6 Lunch in Chinatown	1~3	○	○	◎	◎	食事などの場面で、必要なやり取りを行ったり、食べ物などを話題にして、簡単な語句や文を用いて即興で会話を継続したりすることができる。 【話すこと【やり取り】 -ア】 ※疑問詞を使った疑問文：Which ~? / Why do you ~? -Because ~. / Who ~? / Whose~? ●地域・食事：質問する、理由を述べる、所有者をたずねる	聞くこと	【知識】Which, Why, Who, Whoseなどを用いた疑問文の意味や構造を理解している。 【技能】Which, Why, Who, Whoseなどを用いた疑問文の意味や構造の理解を基に、質問や応答を聞き取る技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、食べ物などを話題としたチャットを続けている。	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、食べ物などを話題としたチャットを続けようとしている。		
									話すこと【やり取り】	【知識】Which, Why, Who, Whoseなどを用いた疑問文やその答えの文の意味や構造を理解している。 【技能】家庭や学校などの日常的な話題について、Which, Why, Who, Whoseなどを用いて質問したり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。				
									書くこと	【知識】Which, Why, Who, Whoseなどを用いた疑問文やその応答文の特徴やまじりを理解している。 【技能】家庭や学校などの日常的な話題について、Which, Why, Who, Whoseなどを用いた疑問文の構造の理解を基に、相手に合わせたことを書く技能を身に付けている。				

月	課	配当 時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点 を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
0 月	1	Review / Task	-	○	○				○	※既習の言語材料 ●必要な情報を聞き取る				
	1	Grammar	-	-	-	-	-	-		※既習の言語材料				
	1	Performance Test												
	1	単元テスト												
T3	1	Tips ③ for Reading	-	○	○					代名詞が何(誰)を指しているのか理解しながら文章を読むことができる。 ※既習の言語材料 ●事実を読み取る	読むこと	【知識】代名詞の使われ方を理解している。 【技能】代名詞が何(誰)を指しているかを把握しながら読む技能を身に付けている。		
	UE	1	Useful Expressions	-					○	飲食店で用いる特有の表現を使うことができる。 ※既習の言語材料 ●◆地域・食事：注文する	書くこと	【知識】May I take your order?やWhat would you like?など飲食店で用いる表現の意味や働きを理解している。		
1 1 月	7	Lesson 7 Symbols and Signs	1~3	◎	○	○	◎	◎		標識やピクトグラムの説明を聞いて理解したり、説明したりすることができるとともに、他の学校と比較するためにルール等を聞き取り、自校のルールとの相違点などを説明したりすることができる。 【聞くことーイ・ウ】 ※助動詞を使った文：You [don't] have to ~. / I must [mustn't] ~. / May I ~? / Bob may ~. / He is able to ~. ●家庭・学校：命令する、指示する、許可を求める、推量する ◆クイズを出す	聞くこと	【知識】have to, must, mayなどを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】have to, must, mayなどを用いた文の特徴や決まりを基に、質問や応答を聞き取る技能を身に付けている。	自分の学校と他の学校のルールを比較するために、相手の話を聞き、要点を捉えている。	
											読むこと	【知識】have to, must, mayなどを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】have to, must, mayなどを用いた文の特徴や決まりを基に、標識の説明などを読み取る技能を身に付けている。	留学予定の学校のことを知るために、学校のルールを書いたブックレットから、必要な情報を読み取っている。	留学予定の学校のことを知るために、学校のルールを書いたブックレットから、必要な情報を読み取ろうとしている。
											話すこと [発表]	【知識】have to, must, mayなどを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】標識やピクトグラム、学校のルールなどについて、have to, must, mayなどを用いて話す技能を身に付けている。	自分の学校のルールと比べるために、他校のルールを聞いて、自校のルールとの違いなどを、簡単な語句や文を用いて話している。	自分の学校のルールと比べるために、他校のルールを聞いて、自校のルールとの違いなどを、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
											書くこと	【知識】have to, must, mayなどを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】標識やピクトグラムなどについて、have to, must, mayなどを用いた説明文を書く技能を身に付けている。	自分の学校のルールと比べるために、他校のルールを聞いて、自校のルールとの違いなどを、簡単な語句や文を用いて書いている。	自分の学校のルールと比べるために、他校のルールを聞いて、自校のルールとの違いなどを、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
1	Review / Task	-	○	○				○	※既習の言語材料 ●学校：聞き取ったことを要約して発表する					
1	Grammar	-	-	-	-	-	-		※既習の言語材料					

月	課	配当 時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点 を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2 月		1	Performance Test											
		1	単元テスト											
	P1	2	Project 1	-	○	○	◎	○	地域や学校で必要なことを相手に伝えるために、独自の標識を考えて発表することができる。 【話すこと [発表] -イ】 ※既習の言語材料 ●学校：説明する	話すこと [発表]		地域や学校で必要なことを相手に伝えるために、独自の標識を考え、相手に分かるように話している。	地域や学校で必要なことを相手に伝えるために、独自の標識を考え、相手に分かるように話そうとしている。	
		3	ICE Program											
	R2	3	Reading 2 An Old Woman and a Dog	1~3		◎			物語を、引用符の使われ方の理解を基に、誰が何と言ったのかを捉えながら読み進めることができる。 ※既習の言語材料	読むこと	【知識】引用符を用いた物語文の特徴を理解している。 【技能】引用符を用いた物語文の特徴を基に、誰が何と言ったのかを把握しながら内容を読み取る技能を身に付けている。			
									アヤの冬休みの計画を聞いたり、訪れる場所の記事を読んだりして、必要な情報や要点などを捉えたり、知り得たことの内容や感想を伝え合うことができる。 【聞くこと-ア・ウ、読むこと-イ、話すこと [やり取り] -ウ、書くこと-ウ】	聞くこと	【知識】be going to ~やwillを用いた未来表現の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】be going to ~やwillを用いた未来表現の文の特徴やきまりを基に、これからすることなどを聞き取る技能を身に付けている。	友達の手帳を知るために、計画を聞いて、いつ、どこで、何をやるなどの要点を捉えている。	友達の手帳を知るために、計画を聞いて、いつ、どこで、何をやるなどの要点を捉えようとしている。	
		7	Lesson 8 Holiday in Hokkaido	1~3	◎	◎	○	◎	※未来表現：What are you going to? -We are going to~/ It will~. ●学校・地域・旅行：予定や計画を述べる、予想を述べる、予定や計画についてたずねる ★社会（地理）：日本の地理（北海道） ★冬休み：冬休みの予定の記録・発表	読むこと	【知識】be going to ~やwillを用いた未来表現の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】be going to ~やwillを用いた未来表現の文の特徴やきまりを基に、これからすることを読み取る技能を身に付けている。	訪れる先の予備知識を得るために、パンフレットや記事などを読んで、自分の必要な情報を捉えている。	訪れる先の予備知識を得るために、パンフレットや記事などを読んで、自分の必要な情報を捉えようとしている。	
		1	Review / Task	-	○	○		○	※既習の言語材料 ●聞き取ったことを要約して書く	話すこと [やり取り]	【知識】be going to ~やwillを用いた未来表現の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】週末の予定などについて、be going to ~やwillを用いて伝え合う技能を身に付けている。	冬休みの計画など話された内容を聞いたり、訪れるところの記事を読んだりして、分かったことや感想などを整理し、伝え合っている。	冬休みの計画など話された内容を聞いたり、訪れるところの記事を読んだりして、分かったことや感想などを整理し、伝え合おうとしている。	
		1	Grammar	-	-	-	-	-	※既習の言語材料	書くこと	【知識】be going to ~やwillを用いた未来表現の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】週末の予定などについて、未来表現の文を用いて、自分のことを伝えたり、相手に質問したりなどの書く技能を身に付けている。			
			1	Performance Test										
		1	単元テスト											

月	課	配当 時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点 を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 月	T4	1	Tips ④ for Listening	-	○				◎	自分へのメッセージを聞いて、相手の意向を捉え、適切に返事を書くことができる。【書くことーウ】 ※既習の言語材料 ●電話での対応：必要な情報を聞き取る、予定や計画を述べる	書くこと		メッセージを聞いて、相手の意向をとらえ、適切な返事を書いている。	メッセージを聞いて、相手の意向をとらえ、適切な返事を書いている。
										身近な問題を考えるために、環境問題についての話を聞いたり読んだりして、要点を捉えるとともに、考えたことや感じたことなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりすることができる。 【読むことーウ、話すこと [発表] -ウ、書くことーウ】 ※There is [are]～. / Is [Are] there～? / SVC (C=形容詞) ●学校・地域：ものがあること[人がいること]を説明する、ものがあるか[人がいるか]を質問する、印象や感覚を言う ★社会（地理・公民）：環境問題（温暖化・ゴミ処理問題）				
	9	6	Lesson 9 Helping the Planet	1～3	○	◎	○	◎	◎	自分へのメッセージを聞いて、相手の意向を捉え、適切に返事を書くことができる。【書くことーウ】 ※既習の言語材料 ●電話での対応：必要な情報を聞き取る、予定や計画を述べる	読むこと	【知識】There+be動詞+～の文の特徴やまきを理解している。 【技能】There+be動詞+～の文の特徴やまきを基に、町や学校にあるものなどについて内容を捉える技能を身に付けている。	自分の意見をまとめるために、ごみ問題などの環境問題をテーマにした文章を読んで、要点を捉えている。	自分の意見をまとめるために、ごみ問題などの環境問題をテーマにした文章を読んで、要点を捉えている。
										身近な問題を考えるために、環境問題についての話を聞いたり読んだりして、要点を捉えるとともに、考えたことや感じたことなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりすることができる。【読むことーウ、話すこと [発表] -ウ、書くことーウ】 ※There is [are]～. / Is [Are] there～? / SVC (C=形容詞)	話すこと [発表]	【知識】There+be動詞+～の文の特徴やまきを理解している。 【技能】町や学校などにあるものについて、There+be動詞+～の文を用いて口頭で説明する技能を身に付けている。	相手に自分の考えを知ってもらうために、環境問題について読んだことについて、事実や自分の考えなどを話している。	相手に自分の考えを知ってもらうために、環境問題について読んだことについて、事実や自分の考えなどを話そうとしている。
										※既習の言語材料 ●聞き取ったことを要約して発表する	書くこと	【知識】There+be動詞+～の文の特徴やまきを理解している。 【技能】町や学校にあるものなどについて、There+be動詞+～の文を用いて書く技能を身に付けている。	相手に自分の考えを知ってもらうために、環境問題について読んだことについて、事実や自分の考えなどを書いている。	相手に自分の考えを知ってもらうために、環境問題について読んだことについて、事実や自分の考えなどを書こうとしている。
1	Review / Task	-	○	○	○			※既習の言語材料						
1	Grammar	-	-	-	-	-	-		※既習の言語材料					

月	課	配当 時間	教材名	パート	主な領域* (◎は評価の重点 を置くもの)					単元の目標【主な領域別の目標】 ※主な言語材料 ●主な言語の使用場面と言語の働き ◆小学校英語との関連 ★他教科・学校行事との連携例	重点的に評価の対象とする領域と評価規準 (グレーの箇所は選択的に採用する評価規準)			
					L	R	SI	SP	W		領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 月	FR	1								Performance Test				
		1								単元テスト				
		1								学年末テスト				
		1								評価面談				
		P2	2	Project 2	-	◎		◎	○	<p>クラスのことをより知るために、アンケート調査を実施し、その結果を発表したり、クラスメートの発表から概要を捉えたりすることができる。</p> <p>【聞くことーイ、話すこと [発表] ーイ】</p> <p>※既習の言語材料</p> <p>●学校：説明する</p>	聞くこと		<p>クラスのことをより深く知るために、クラスメートのスピーチの内容から概要を捉えている。</p>	<p>クラスのことをより深く知るために、クラスメートのスピーチの内容から概要を捉えようとしている。</p>
		1									沖縄県到達度調査（筆記）			
		1									沖縄県到達度調査（Speaking）			
		R3	6	Reading 3 The Golden Dipper	1~3		◎			<p>物語を読んで、登場人物の心情を理解しながら概要を捉えることができる。【読むことーイ】</p> <p>※既習の言語材料</p> <p>★道徳：小学校道徳の定番教材</p>	読むこと		<p>物語を楽しんで読むため、登場人物の心情を理解しながら概要を捉えている。</p>	<p>物語を楽しんで読むため、登場人物の心情を理解しながら概要を捉えようとしている。</p>
		3	FR	5	Further Reading The Letter	-		◎		<p>物語を読んで、登場人物の心情を理解しながら概要を捉えることができる。【読むことーイ】</p> <p>※既習の言語材料</p> <p>★国語：小学校国語の定番教材</p> <p>◆絵本を読む</p>	読むこと		<p>物語を楽しんで読むため、登場人物の心情を理解しながら概要を捉えている。</p>	<p>物語を楽しんで読むため、登場人物の心情を理解しながら概要を捉えようとしている。</p>
		通 年	AP	帯活動	Activities Plus	1~5	○	○	◎	◎	<p>様々な話題について、相手からの質問に対し、複数の文で答えることができる。</p> <p>【話すこと [やり取り] ーイ】</p> <p>様々な日常的话题について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしながら、チャットを継続することができる。</p> <p>【話すこと [やり取り] ーア】</p> <p>様々な話題について、簡単な文や語句を用いて即興で話すことができる。</p> <p>【話すこと [発表] ーア】</p> <p>※既習の言語材料</p> <p>●●学校：質問する、応答する、自分のことや自分の考えを伝える</p>	話すこと [やり取り]	<p>【知識】疑問文の意味を理解しているとともに、質問に対する応答の仕方理解している。</p> <p>【技能】相手からの質問の意味を捉え、正しい文で答えるとともに、関連する情報を付加して応答する技能を身に付けている。</p>	
話すこと [発表]	<p>お互いのことを理解し合うために、日常的话题について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしたりしながら、チャット（おしゃべり）を継続している。</p>										<p>お互いのことを理解し合うために、日常的话题について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしたりしながら、チャット（おしゃべり）を継続しようとしている。</p>			
話すこと [発表]	<p>自分のことをより知ってもらうために、様々な日常的话题について、簡単な語句や文を使って数文程度のことを即興で話している。</p>										<p>自分のことをより知ってもらうために、様々な日常的话题について、簡単な語句や文を使って数文程度のことを即興で話そうとしている。</p>			

合計 140